

(別紙3)

事業所名 グループホーム ひなた

## 目標達成計画

作成日: 令和 2 年 1 月 29 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	「身体拘束廃止の取り組み」として、特に言葉の拘束を重視しているが、職員間で「拘束」への意識に温度差がある。	理念の「みんなで作ろう明るいひなた」をもとに、「絶対拘束」をしない施設として目標を掲げる。	職員ひとりひとりが、スピーチロックの施設内体験勉強会を開催して、職員のどんな言葉に傷つき、いやな思いをするのか身をもって体験することにより、利用者様の思いを真から感じることができる。	12ヶ月
2	13	毎年のように大きな災害が各地で発生していることを深刻な危機として捉えていない。また、施設独自の災害対策マニュアルが作成されていない。	職員全員が、災害についての知識を深め、施設独自の地域を巻き込んだ災害対策マニュアルを作成する。	地元の消防団と話し合いの場を持ち、現状の地域の災害対策について意見交換する。また周辺住民の方々に「ひなた」のPRをして、災害時についても協力し合えるような関係を築いておく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月